

PPH-1503 通信の使用上のご注意



注意

PPH-1503の取扱説明書にLAN通信のWebブラウザからのアクセスの説明が残っている場合がありますが、現在のバージョンのファームウェアではWebブラウザからのアクセスは停止し、Socket通信(ポート:1026)のみとなっています。

またUSBおよびLANで通信を行う場合は、はじめにパネルからキーロック状態にするか、リモートコマンド(:syst:rem)を送る必要があります。キーロック状態でないと他の通信コマンドを受け付けません。制御が終了したらキーロックを解除するか解除コマンド(:syst:loc)を送ります。GP-IBの場合は明示的にリモートにする必要はありません。

PPH-1503のLAN端子/USB端子をネットワークにつないだまま電源をオンするとキーロック状態になります。またPPH-1503が動作している状態でLAN端子/USB端子を接続するとキーロック状態になります。

LANのアドレス設定をDHCP以外にする場合は、サブネットマスクの設定に注意してください。

リモート制御
の開始

- リモートコントロールモードにするには通信ケーブルがつながっている状態で Lock キーを長押しするか、リモートコマンド(:syst:rem)を送ってパネルをロックします。
- リモートコントロールモードになると、ステータスバーに LAN/USB/GPIB のアイコンが赤グレーになります。
- ステータスバーにロックアイコンも赤色に変わります。



リモート制御
モードからの
復帰

- リモートコントロールモードを終了するには、PC からの解除コマンド(:syst:loc)を送るかフロントパネルの【Lock】キーを長押ししてロックを解除します。リモートコントロールモードを終了すると、ステータスバーにある LAN/USB/GPIB のアイコンがグレーになります。
- ステータスバーにロックアイコンも灰色に変わります。
- リアパネルからコネクタを外す場合には通信がオフの状態で行ってください。

